

# 東京2020オリンピック・パラリンピック ホストタウン★貝塚市



市は、女子卓球種目で台湾のホストタウンに登録されています。  
東京2020オリンピック開催400日前となる6月20日(木)に台湾の食文化に親しんでもらうため、市内の公立認定こども園、小学校、中学校で台湾料理を給食のメニューとして提供します。

問合せ先 政策推進課  
☎072-433-7241

オリンピック開催カウントダウン  
400日前記念

## 6月20日

### 認定こども園・小中学校の給食に 台湾料理が登場!



写真はイメージです

#### ●認定こども園

ルーローハン(※)  
ビーフンサラダ、スープ  
おやつにパイナップルケーキ



ビーフンサラダ



※ルーローハン(魯肉飯)  
小さく切った豚バラ肉を醤油ベースのタレで煮詰め煮汁ごとご飯にかけた丼物で、台湾の庶民の味として親しまれています。

#### ●小・中学校

焼きビーフン



### ほの字の里

- ◆設備点検で臨時休業
- ▶期間 6月25日(火)~27日(木)
- ◆そば打ち体験(要申込)  
打ちたてのそばは最高です!
- ▶日時 6月30日(日)午前10時~、午後1時~▶参加費 1,800円(そば500g付)
- 申込・問合せ先 ほの字の里☎072-478-8777(木曜定休)

### たわわ



- ★ぶどう狩り園
- ▶日時 7月27日(土)から予定
- ▶料金 入園無料。デラウエア100g 100円(税別)から収穫分量売り
- 申込・問合せ先 たわわ(月曜定休、祝日の場合は翌日)☎072-446-8000(午前中)または☎090-5252-6365(午前9時~午後3時)

### 自然遊学館



#### 二色の浜で ヒラメの稚魚放流

(公財)大阪府漁業振興基金栽培事業場で育てられたヒラメの稚魚を、二色の浜の海に放流します。放流の前に砂浜の清掃をします。大きく育ててくれるといいですね。  
▶日時 6月22日(土)午後1時~2時30分(小雨決行・大波中止)▶集合 二色の浜海岸中央部マスト付近(中学生以下は保護者同伴)▶申込 電話で(☎072-431-8457、火曜定休)

### 今月のつけさん



あてきなイラスト  
ありがとう!  
匿名希望さん

イラスト募集中です

問合せ先 貝塚市まちづくり推進委員会事務局(広報交流課内)  
☎072-433-7230

### ひと・ふれあいセンター

☎072-422-7523

#### 和太鼓づくり講座



映画「ある精肉店のはなし」に出演された北出昭さんと作る、直径21.5cmの本格的な和太鼓づくりに挑戦してみませんか。  
▶日時 6月29日(土)午前9時30分~正午▶場所 ひと・ふれあいセンター▶対象 どなたでも(小学生以下は保護者同伴)▶定員 20人(多数の場合は抽選)▶参加費 3,500円▶締切 6月24日(月) ID:8375

#### かいづか人権セミナー

ヘイトスピーチを許さない  
社会をめざして

インターネット上や街頭で執拗に被害を受けた当事者から、ヘイトスピーチをなくすための具体的な取り組みや課題について話していただきます。  
▶日時 6月24日(月)午後7時~8時30分▶場所 ひと・ふれあいセンター▶講師 李信恵さん(フリーライター)▶参加費 無料▶申込 窓口・電話で(手話通訳・点字資料が必要な場合は、17日まで要連絡)。ID:22472



### 雨天決行

#### 今月のとれとれ朝市

6月15日(土)午前10時~

小銭・買物袋をご用意ください  
場所 市役所正面玄関前

問合せ先 貝塚市まちづくり推進委員会事務局(広報交流課内)  
☎072-433-7230

### 白いとうもろこし雪の妖精の 収穫体験をしませんか!

日時 7月7日(日)①午前10時~②午後1時~  
※雨天の場合は14日(日)に延期  
場所 澤の農地(南海本線「二色浜」駅徒歩約5分)  
内容 とうもろこしの収穫体験・採れたてとうもろこしの試食・焼きとうもろこしの食べ比べ など  
参加費 中学生以上 1,300円  
5歳以上小学生以下 700円(保護者同伴)  
※交通費は含みません。  
定員 各60人(定員になり次第締切)  
申込方法 くらし菜園公式ホームページ内にあるイベント情報ページからのお申込み  
締切 6月21日(金)午前10時  
問合せ先 南海テレホンセンター☎06-6643-1005



### 生きものだいすき!「テナガツノヤドカリ」

二色の浜の砂浜海岸で見られるヤドカリのひとつにテナガツノヤドカリがいます。  
近木川河口で多く見られるコビナガホンヤドカリと同程度の2cmくらいの小型種で、外見も名前もよく似ていますが、ハサミ脚に違いがみられます。コビナガホンヤドカリが決まって右のハサミが大きいのに対して、テナガツノヤドカリは決まって左のハサミが大きいです。また、本種の触角は羽毛状になっていて、この触角を振り回して水中のプランクトンなどを集めて食べています。  
生息に適した砂質干潟は埋め立てなどで全国的に減少し、分布域が限られていることから、干潟のレッドデータブックでは準絶滅危惧に評価されています。



問合せ先 自然遊学館☎072-431-8457